

議 事 録

件名	久留米市セーフコミュニティ認証現地審査 学校安全対策委員会	
日時	令和5年7月31日(月) 16:19~17:11	
場所	久留米シティプラザ5階 大会議室	
出席者	委員	小屋松委員長、広津副委員長、松田委員、綾部委員、古賀委員、工藤委員、西川委員、柳委員、原委員、新谷委員
	事務局	山下、松元(学校教育課)、豊福主幹、岡課長補佐、古賀、田中(安全安心推進課)
欠席者	江島委員、吉富委員、今村委員、小野委員	
傍聴者	なし	
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 出席者紹介</li> <li>3. プレゼンテーション発表 「学校安全委員会の取り組みについて」</li> <li>4. 質疑応答</li> <li>5. 閉会</li> </ol>	
質疑 先生	<p>交通安全、防災、多岐にわたって包括的に取り組んでいることが分かりました。その中で、近年特に大切なのはいじめの問題です。このいじめは、身体的にも精神的にも大きなダメージになる可能性があり、おそらく日本でも自殺に至るといふケースもあるかと思ひます。とても心のアプローチが必要です。ゆえに、この対策委員会にメンタルヘルスの専門家を加えたらいいのではないかと思ひます。</p> <p>いじめの背景には勉強に関するストレスが、少なからず影響しているという報告がされています。韓国でも非常に重要な問題ですので、各校にメンタルヘルスの専門家を配置したり、メンタルヘルスセンターのようなものを設置したりしています。日本でも、勉強に関するストレスはあると思ひますので、スクールカウンセラーが配置されれば一番良いと思ひます。その方々が対策委員会に入れば良いと思ひます。</p> <p>そして久留米市も学校の先生に対する研修を実施しているという報告でした。それに合わせて、保護者にもアプローチしていくのも大切だと思ひます。特に不登校になった子供のいる家庭は、親御さんたちがある程度の知識を持って子どもに接すると効果があると思ひます。</p> <p>特に、学校の安全に関して、日本はとてもいろいろな関心を寄せて、取り組みができています。もし久留米市で成果があるということは、おそらく他の自治体でも効果があるということだと思ひますので、他の自治体の学校と、あるいは県内の学校と共有するのも素敵なことだと思ひます。私も実際、メンタルヘルスの専門家ですが、韓国にもそういう素晴らしい事例を積極的に共有していただきたいと思ひます。</p>	

議 事 録

<p>ウィルソン先生</p>	<p>子供の安全、学校の安全というのは、本当に国を超えて世界中で大切な問題です。その中で私が質問したいと思うのが学校での不審者対策です。ご報告の中で、上津小学校で、過去に不審者が侵入してきたとありましたが。その時にどのように対応したのか、何をしたのか、そしてその経験から何を学んだのかということについてお聞かせいただければと思います。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>当時、私は〇〇小学校の校長ではありませんでした。当時の情報では、不審者が入ってきた時には当時の校長が不在だったということで、教頭が対応したというふうに聞いております。その不審者は刃物とかを持っていない状態で、危険な人物ではないということが分かったそうです。警察にも来ていただいて、子供達に危害を加えているということで、その人を確保という形で対応したようです。</p> <p>その後はいつ不審者が来るかわからないので、複数で対応することや、すぐに連絡を取って全職員で動けるようにしておかなければいけないという認識の下、報告したように、警察を呼んだ実際の練習に繋がっていったという経緯があります。</p>
<p>ウィルソン先生</p>	<p>このような不審者が侵入してくる時、おそらくその学校の先生が全ての子供達を完璧に守るというのは非常に難しいので、子どもの行動が非常に大切になってきます。そういう意味では、不審者が侵入してきた時に、子供たちがどういうふうに考えて、どういうふうに動くかということです。</p> <p>犯罪者に対して身を守るために行動するのは、ちょっと怖いこともあるかなと思います。今まで訓練をしている時に子供達にどういうふうに感じているのかを聞いてみたりしたことはありますか？</p>
<p>委 員 長</p>	<p>やはり不審者が来ているということを知って、子供たちはすごく怖がります。しかし、学校に不審者が侵入した時には、必ず校内放送をして、現在の状況を伝えていきます。子供たちは教室で待って、不審者が教室の方にはいかないということが分かったら、体育館に移動など、学校の先生が指示をするから、必ずそれらの指示を聞いて、動くようにするという訓練とか話をしております。</p>

<p>ウィルソン先生</p>	<p>先生方が何をするのか、子供たちが何をするのか、どういう行動をとるのかということ、学校の中で共有するのが大切なことだと思います。事前に学んでおいて、行動がとれるようにしておくことは大切だと思いました。例えば、私の出身であるアメリカでは、皆さんも聞いたことあるかと思いますが、学校に不審者が侵入してきます。時には銃を持っていたりします。そして、そういう時にどういう行動をとったらいいのか、どういう順番で自分の身を守ったらいいのかというのが分からないと、本当に一瞬でパニックになってしまいます。そして、そこがカオスみたいになると、余計にその不審者を刺激して、そのパニックやカオスをさらに助長してしまう結果になってしまいます。だから、学校側としては、警察が来るまで待つというのが実情です。警察がすぐに来れば、不審者の対応ができるかもしれませんが、時として、必ずしもすぐに来て、子供達を守ってくれるというわけではない場合もあります。その時に学校として、どう対応できるのか、子供たちがどういうふうに行動をとるのか、自分の身を守るのかということ、事前に知っておいて、行動が取れる状態にしておくのはとても大切だと思いました。</p>
----------------	---

	No	助言・指摘事項・課題
<p>指摘事項等</p>		<p>学校安全対策委員会にメンタルヘルスの専門家を加えると良いのではないかと。</p>
		<p>学校の先生に対する研修と同じように、保護者にも啓発を行うことが重要である。保護者がある程度の知識をもって、子どもに接することが重要である。</p>
		<p>久留米市の学校安全の取組は一定の成果がみられるので、他の自治体等で共有していくといいのではないかと。</p>